

〔海況概要〕（令和2年8月13日～8月19日）

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕（令和2年8月13日～8月19日）

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣—ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり43kgの水揚げで前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり1トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり49kgの水揚げで、前週の4.4倍（前年を下回った）。
- 定置網—五島有川町地区では、メイチダイなどが1日1統当たり9kgの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり176kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり275kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、イサキが1日当たり64kgの水揚げで、前週の6倍（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日当たり19kgの水揚げ（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

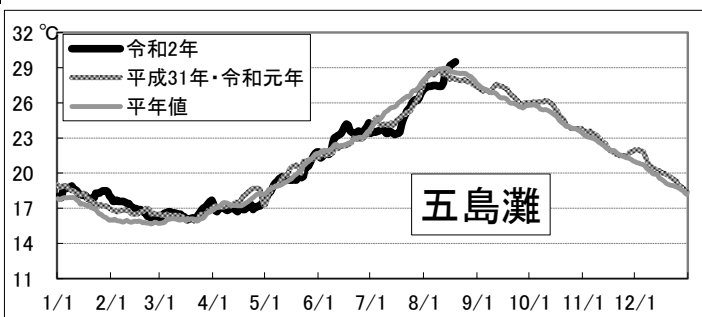
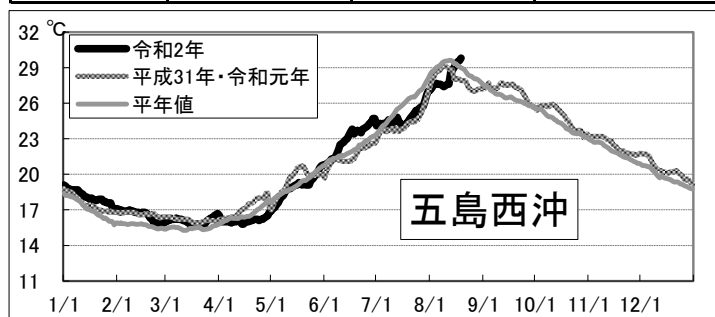
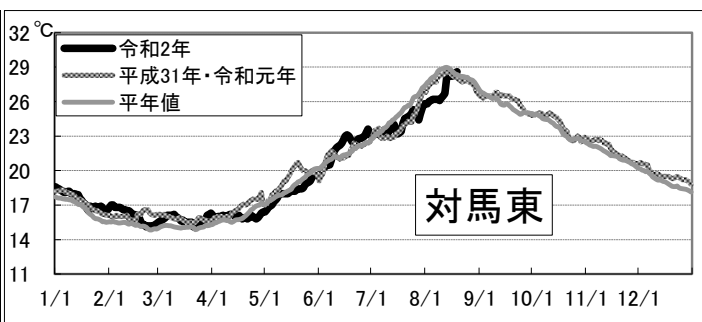
今期（8/8～8/19の12日間）沖合イカ釣り船、船凍船は佐渡沖及び山形沖で操業。赤イカは北太平洋に出漁。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖に形成された。今期も主漁場は山口沖であったが1晩1隻当たりの漁獲量は減少した。（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGSST（人工衛星水温）〔気象庁発表〕より

令和2年8月13日～令和2年8月19日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。

	水温	前週差	平年差
対馬東	28.3℃	2.0℃	-0.4℃
五島西沖	29.2℃	1.7℃	-0.1℃
五島灘	29.5℃	1.6℃	0.3℃



〔お知らせ〕

漁海況通信「第2 - 19号 トビウオ漁況予報」「第2 - 20号 長崎県周辺海域の海面水温（8月号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>